

# 岐阜県農業信用基金協会

## 1. 岐阜県の紹介

岐阜県は国土のほぼ真ん中に位置し、7つの県と県境を有する数少ない内陸県、いわゆる海なし県の1つで、地図上のほぼ真ん中であることに加え、人間の身体でいうところの「へそ」にあたる人口重心（人口の1人1人が同じ体重と仮定して、日本の人口が全体として均衡を保つことのできる点）が岐阜県関市にあり、まさに日本の真ん中にある県と言えます。

国土の真ん中に位置するため、当協会の所在地である岐阜市からは名古屋まで約20分、新幹線で東京まで約2時間、大阪まで約1時間と三大都市に近く、便利なところです。

そんな岐阜県は、面積10,621km<sup>2</sup>、全国7位と広大な県土を有し、北部の飛騨地域には

穂高岳、槍ヶ岳、御嶽山など3千メートル級の山々がそびえ、南部の美濃地域には濃尾平野が広がり、木曾川、長良川、掛斐川の木曾三川に囲まれた海拔0メートルの水郷地帯にまで及ぶバラエティに富んだ地形となっています。

また、3千メートル級の山々がそびえる岐阜県は県土の8割を森林が占める森の国でもあります。その豊かな森は豊富で清らかな水をたたえ、美しい景観とともに豊かな恵みをもたらし、県民の暮らしを支えています。

また、世界的にも珍しい現在も住民が暮らす合掌造りの家屋が世界文化遺産となっている「白川郷」、日本三名泉にも数えられる「下呂温泉」をはじめとした奥飛騨温泉郷などの温泉、趣のある古い町並みが多く観光客を魅了する「飛騨高山」、一晩中踊り明かす「郡上の徹夜踊り」、かの俳人松尾芭蕉も観覧し、句を詠んだ「長良川の鶉飼い」など多くの観光資源にも恵まれています。



©岐阜県 清流の国ぎふ・ミナモト #1193

## 2. 岐阜県の農業

岐阜県の農業は「日本の縮図」とも呼ばれ、バラエティに富んだ地理的条件、気候条件と名古屋、大阪などの大消費地に近いという立地条件を活かし、様々な種類の作物が1年を通して栽培されています。

森林が8割を占める岐阜県の農業産出額は決して多くありませんが、地理的条件や気候条件に合わせた農業が行われ、最も農業産出額が



多いのは水稻で、主な作付け品種となっている「ハツシモ」「コシヒカリ」が作付面積の約7割を占めていますが、「ほしじるし」や「あきさかり」など県の奨励品種に採用された品種が増加傾向にあります。

全国4位を誇る柿は、南部の岐阜地域を中心に栽培されていますが、甘柿の王様とも称され、全国的にも広く栽培される「富有柿（ふゆうがき）」は岐阜県発



祥の品種です。また、岐阜県出身の文学者坪内逍遙もこよなく愛したとされるブランド干し柿「堂上蜂屋柿（どうじょうはちやがき）」は贈答用に大変人気があります。

全国6位のほうれんそうは、夏でも夜間の気温が下がる飛騨地方を中心に栽培されるブランド野菜「飛騨ほうれんそう」が有名です。



そのほか全国第4位のくり、通年栽培されるトマトは全国7位など、地理的・気候的利点を生かした農業を展開することにより全国上位に入る作物も多くあります。

さらに、美しい霜降りと口の中ですとろける芳醇な香りと味わいが特徴のブランド牛「飛騨牛」など、多彩な農畜産業が展開されています。



### 3. 岐阜県農業信用基金協会の概要

当協会は、理事7名（うち常勤1名）、監事2名の役員9名、職員13名で、総務課と業務課の2課体制にて業務運営を行っています。



### 4. 岐阜県農業信用基金協会の活動

当協会における農業関連資金については、県内農業者の高齢化や減少および法人化が進む中、保証残高に占める割合は1割程度ですが、当協会のパーパス（存在意義）を意識し、JA等融資機関への説明会や訪問により「農業信用保証保険制度」の普及に努めるとともに、足元の飼料・資材等の物価高騰に伴う対応等を含め、JA等融資機関を通し農業者等の負託に応えるべく業務に取り組んでいます。

一方、生活資金については、他保証会社の参入に伴う競合の激化により、保証残高が平成16年度をピークに減少の一途を辿り、平成25年度にはピーク時の半以下まで落ち込んだものの、積極的なJA等融資機関への訪問を通し、頂いた意見を反映するべく「競争」という意識改革のもと、業務改善、保証要綱や保証料率の見直し、研修会の開催等に取り組んだ結果、現在ではピーク時の8割程度

まで回復しました。

このような中、令和5年9月に県内JAの「貸出システム」と併せ、「保証審査システム」の利用を開始したことに伴い、迅速な保証審査が可能となり、今後シェア拡大に寄与することを期待するとともに、当協会は職員全員が信連からの出向であるため、3年程度で異動による職員の入替があることから、業務レベルの維持を課題として、規程類の整備や内部研修会等により人材育成に取り組んでいる中、当システムが業務レベル維持を補完してくれるものと確信しています。

今後、農業を取り巻く環境は厳しさを増すことが懸念される中、関連団体やJA等融資機関との連携を密にし、農業者等のニーズを的確にくみ取り、迅速に対応することにより、「選ばれる保証機関」に向け組んでまいります。